

月報・日本から発信！

3月号の内容

「情報発信プラットフォーム」(2月)掲載の主要論文の要旨

オバマ政権の優先課題 バリー・デスカー (シンガポール・南洋工科大学・S.ラジャラトナム国際研究大学院院長)

バラク・オバマ氏が米国の大統領に就任したが、彼には難題が山積している。その優先順位は、米国の世界的な指導権を復活させることや拡大し過ぎた覇権国としての米国の新たな立場をめぐる同盟関係の立て直しにあると言える。

1月20日のオバマ氏の就任演説は、生真面目で厳格であったとさえ感じられ、精神的高揚はなく、彼のスピーチを特徴付ける明るい楽観的な面もなかった。彼は、戦争、極度に弱まった経済、更に米国の衰退は避けられないという深い恐れなど、米国が危機の最中にあることを強調した。.....

原文：Priorities for the Obama Administration
www.glocom.org/opinions/essays/20090128_priority_desker

同盟関係の再確認:クリントン国務長官の最も大切な使命 ラルフ・コッサ、ブラッド・グロッサーマン (CSIS パシフィック・フォーラム)

ヒラリー・クリントン氏の国務長官としての最初の海外歴訪先が、(適切に順序立てられて)日本、韓国、中国に決まったというニュースを我々は快く受け入れた。彼女の中国訪問は大変な注目を集めることが予想されるが、東京やソウルでも同様に、場合によってはもっと大きな関心を集めようである。..

原文：Reassuring Allies: Secretary Clinton's Most Important Mission
www.glocom.org/opinions/essays/20090209_cossa_reassure

現代版シルクロードの建設を:アフガニスタンと中央アジアでの日米協力

ジョセフ・ファーガソン (LMI コンサルタント)

中国に 今週クリントン米務長官が、中国、日本、韓国とインドネシアへ向けて初めての外国訪問を始めた。日本政府を安心させるように、まず初めに東京を訪れる。そこでは、アジア太平洋地域における米国の政策と戦略の基盤となる日米同盟の再確認が期待されている。クリントン国務長官の訪日に関する報道が少ないことに関して、その理由としてアフガニスタンにおける日米協力の拡大の可能性が考えられる。.....

原文：Building a Silk Road: U.S.-Japan Cooperation for Afghanistan and Central Asia
www.glocom.org/opinions/essays/20090216_ferguson_build

東アジアのG8創設による同地域の再構築

ユスフ・ワナンディ (ジャカルタ CSIS 財団副議長)

東アジア地域は、特に中国やインドの台頭によって、大きな難局に直面している。平和や安定、経済的ダイナミズムを維持する最も効果的な方法は、中国、インドや日本といったビッグ・スリーを適応させ、米国を含めた地域の未来の均衡を維持出来るような力の協調による地域の枠組みを創設することにある。そのためには、東アジアの協力と制度・枠組みづくりへの前向きな努力が、この地域の未来にとって重要である。

ASEANがこれを助け、.....
原文：Remodeling Regional Architecture
www.glocom.org/debates/20090219_wanandi_remodel

情報発信機構とは

「情報発信機構」は、日本をめぐる重要問題について有識者や専門家の意見や討論をグローバルに発信することを使命とする非営利組織。

ウェブ上では情報発信プラットフォーム(www.glocom.org)で、オピニオン、ディベート、ニュースなどを発信、またニュースレターやメールマガジンも定期的に発行。さらにセミナーも毎月開催。

情報発信ニュースレター：編集後記

月報・日本から発信！

月1回発行
発行人・編集長
前田幹博

学校法人国際大学・情報発信機構
106-0032 東京都港区六本木6-15-21
TEL:03-5411-6714 FAX:03-5770-1725

2月は上記4つを主要論文としてアップしました。クリントン国務長官が歴訪外遊先の第一に日本を訪れ、麻生首相がオバマ大統領になりホワイトハウスから招かれた最初の外国首脳となりました。また2つの日本映画がアカデミー賞を受賞するなど、日本への注目度が高まる最中、3月も重要な問題を論じた論文を掲載していきたいと思っておりますので、ご期待ください。 前田幹博情報発信機構編集長